

第10回事故事例巡回セミナー開催について

石油化学工業協会

本巡回セミナーは各種事故への対応、事故原因究明の経験等をもつ業界先輩の生の声で事例、現場管理の要点の紹介をコンビナート地区にて行い現場管理者の気づきの機会とするもので、第10回目が1月30日(木)に開催された。

今回は、元 JSR(株) 環境安全部長 井村氏、及び、元 ヴイテック(株)社長の岡田氏に講師をお願いし、三井化学(株)岩国大竹工場 三井化学体育館で開催した。岩国、大竹、周南、宇部地区の石化協会員各社の現場管理者、本社の保安関係者など約110名の参加があり、熱心な聴講と活発な質疑が行われた。

はじめに、会場である三井化学(株)岩国大竹工場を代表して永松工場長、及び、主催者代表として石油化学工業協会の村儀保安・衛生小委員長から挨拶が行われた。

続いて、井村氏からは、自社の事故を契機に構築した安全マネジメントシステムに加え、労働安全、地震対策について講演が行われた。岡田氏からは会社生活の殆どを製造管理部門で過ごして来た経験を通じて得られた部長・課長・オペレーターに期待する「思い」について講演が行われた。

記

1. 日 時 2014年1月30日(木) 13:30~17:00
2. 場 所 三井化学株式会社 岩国大竹工場 三井化学体育館
3. 参加対象 石化協会員の岩国、大竹、周南、宇部地区の事業所の製造課長等
4. 参加者数 14社約110名
5. プログラム

時 間	内 容 (敬称略)
13:30~13:40	挨拶 三井化学(株)執行役員岩国大竹工場長 永松 茂樹 石油化学工業協会 保安・衛生委員会 保安・衛生小委員長 村儀 肇 (住友化学(株) レスポンシブルケア室 環境・安全部長)
13:40~15:10	講演1 「産業安全に向けてのJSR(株)の取り組み事例」 井村 裕 (元 JSR(株)環境安全部長)
15:10~15:20	休 憩
15:20~16:50	講演2 「安全は愛、愛は思いやり」 (あるプロセスエンジニアの「廻り安全マネジメント」) 岡田 敏彦 (元 ヴイテック(株)社長)
16:50~17:00	終了挨拶

6. 講演概要

(1) 「産業安全に向けての J S R(株)の取り組み事例」

J S R(株)四日市工場では、過去の爆発事故を契機に「今後、絶対に事故、労災を起こさない」という強い決意の下に、安全活動を体系的に整理し、工場全体を網羅する安全マネジメントシステムとして構築し、このシステムを着実に実行することを基本に、更なる安全レベルの向上を図っている。しかしながら、労働安全においては、なかなか完全災害ゼロは達成できていないのが実情である。その為、数年ほど前から、人の危険に対する感性を上げる活動を進めている。

次に、「地震対策」について、当工場では、1980年代から耐震評価を進めながら計画的に地震対策を推進してきた。その後、2回の大震災を契機に、安全自主保全中期計画の重点事項として大規模地震対策を策定し実行してきている。

本講演では、安全マネジメントシステムに加え、「労働安全」、「地震対策」に関する過去及び現在の取り組みについて説明があった。

(2) 『安全は愛、愛は思いやり』

(あるプロセスエンジニアの「廻り安全マネージメント」)

「安全」の反対語は危険でなく「無意識」であり、「化学工場は常に危険に曝されている」ことを意識し、「危険な状態を排除する」ことが安全を実現することである。

「無意識」を断ち、「危険を意識」するためにはプロセスの設計基本概念を理解し、日常訓練、教育の繰り返しで「自ら考え、行動できる」力を身につけることが必要である。

本講演では、「危険を意識する」のテーマのもとに、化学会社の製造管理部門で過ごした40年の経験を振り返り、考えたこと、行ってきたことを紹介しながら、現在の部長・課長・オペレーターに期待する「思い」について説明があった。

7. 過去の開催状況

第1回	2009年2月	千葉地区	第6回	2011年8月	大分地区
第2回	2009年8月	水島地区	第7回	2012年8月	鹿島地区
第3回	2010年2月	四日市地区	第8回	2013年3月	千葉地区
第4回	2010年7月	周南地区	第9回	2013年7月	四日市地区
第5回	2011年2月	川崎地区			

【講演風景】



三井化学(株) 三井化学体育館 1・2号教育室にて

以上